

クォーツ

報時付掛時計 取扱説明書

取扱説明書番号 MO12-ZXXX

～ 製品の特長 ～

- 毎正時にメロディとからくり動作
- 暗くなるとメロディを自動停止

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「4MH769」をお伝えください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

（フリーダイヤル）

お問い合わせ先 お客様相談室 **0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
<http://www.rhythm.co.jp>

(Y0809)

お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのごよれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 時計を掛けて使用していると、静電気により時計および壁面が汚れることがありますので、定期的な汚れをおとしてください。

時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

おもな製品仕様

常温での時間精度	平均月差 ±20秒
使用温度範囲	-10℃～+50℃
報時音	電子音メロディ
報時精度	毎正時に対して ±30秒
使用電池	単1形マンガン乾電池（JIS規格R20P）4個
電池寿命	約1年（報時を1日17回 音量を最小で鳴らした場合）
その他の報時	からくり動作 音量調節、メロディモニター機能 明暗センサーによる自動鳴り止め 展示モード（正面の扉を開いた状態にする）

- 製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対して
なんら責任を負いません。

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。



この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）



この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■誤飲による事故防止について



小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



分解したり改造しないでください。故障の原因になります。



本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■液晶について



表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸で洗い流してください。目や口に入った場合は、すぐに水道水でよく洗い流し、医師の治療を受けてください。

■使用場所について



下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

電池のご注意（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類が異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かないところに置く。

電池の種類について

- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。Ⓢ **アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
- 一般に充電式乾電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。（例：Panasonic オキシライド乾電池）

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。



- 電池に傷をつけたり、分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 時計を使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき



電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。



もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置き電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

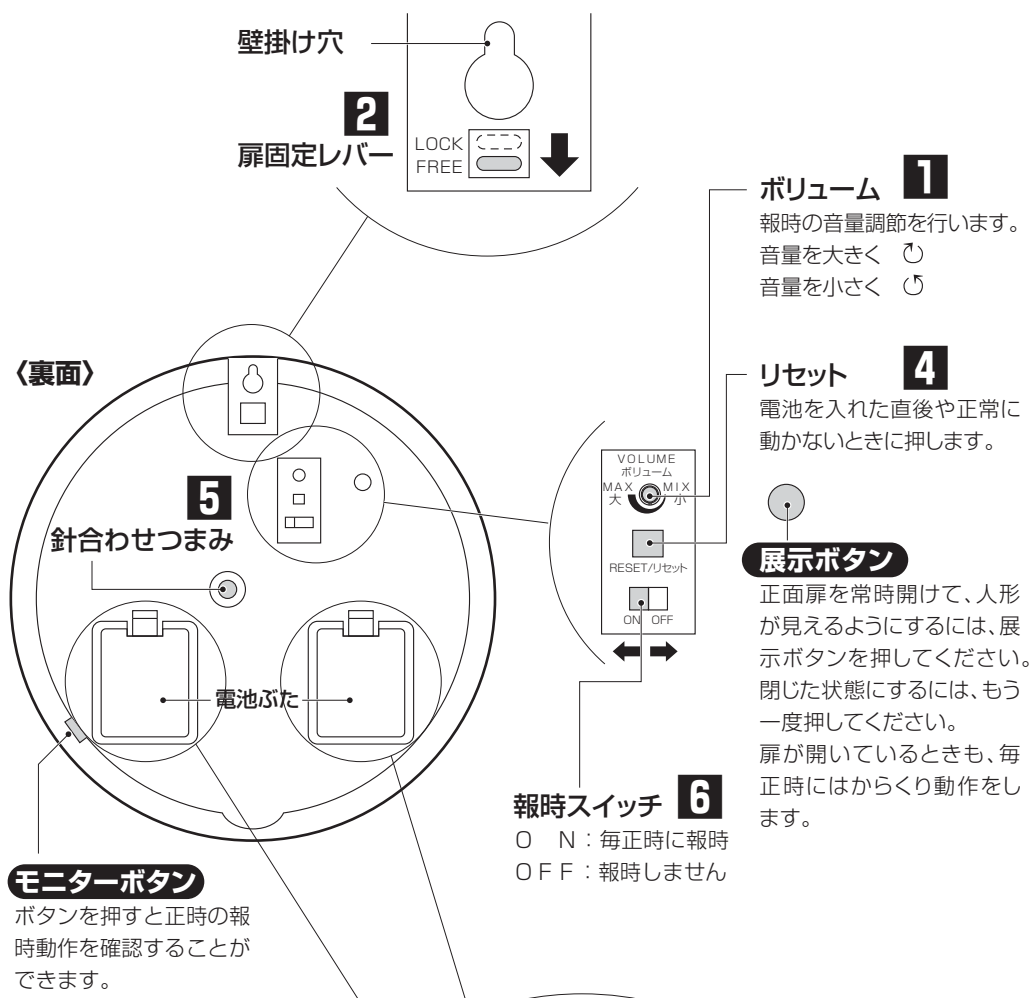
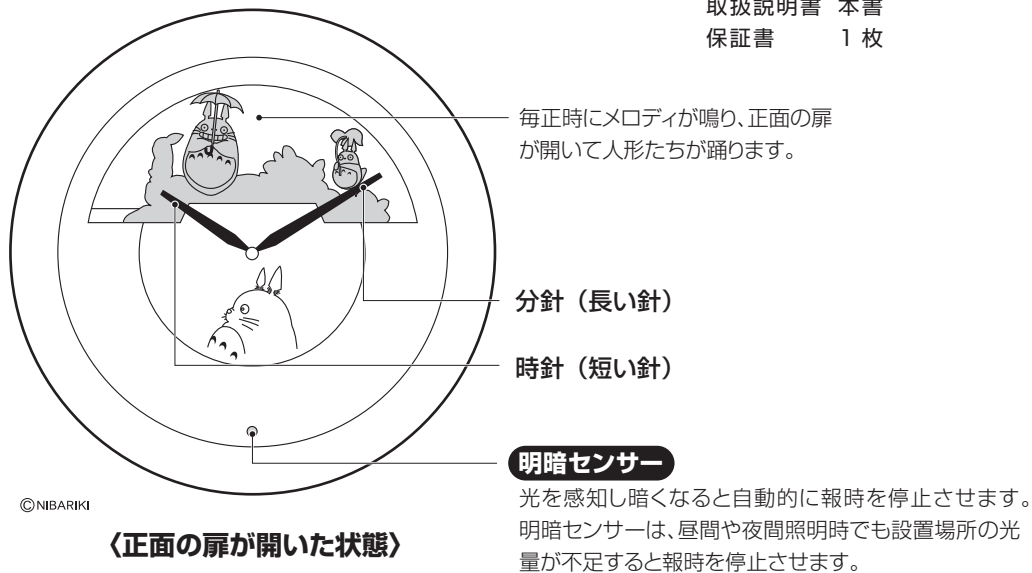


火に入れると破裂の原因となり危険です。

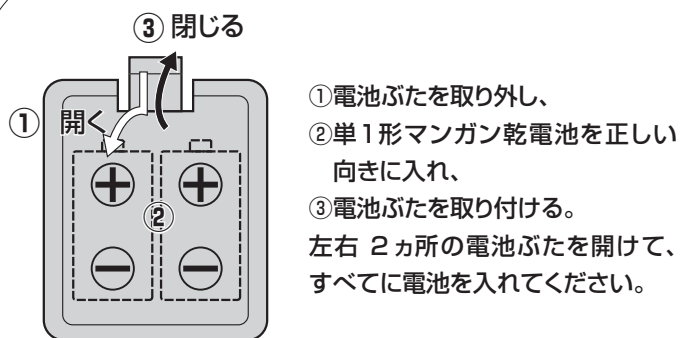
使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

●図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

- 付属品
 単1形マンガン乾電池 4個
 木ねじ 1個
 取扱説明書 本書
 保証書 1枚



〈電池の入れ方〉 3



1 音量を小さくする

ボリュームを回して、音量を「小」にします。
 音量を「小」にしないと、操作中に大きな音が出る場合があります。

2 時計裏面の扉固定レバーを解除する

扉固定レバーを「FREE」(解除)の位置にします。
「LOCK」(固定)状態で使用すると、モーターや機構に負荷がかかり故障や破損の原因になります。
 扉固定レバーは、輸送中の衝撃からカラクリ機構を保護するものです。輸送の際は、LOCK(固定)の位置にしてください。

3 電池を入れる 〈電池の入れ方〉参照

単1形マンガン乾電池4本を電池ホルダーに正しく入れます。

4 リセットボタンを押す

電池を入れ替えたときや扉がきちんと閉まらなくなったときに押してください。

5 時刻を合わせる

針合わせつまみを回して、時刻を合わせます。

6 報時の設定をする

▶報時スイッチの設定

毎正時にからくり動作をさせたい場合は報時スイッチをONに、停止させたい場合はOFFにします。
 ※時刻合わせをしたあとの最初の正時では、からくり動作をしないことがあります。つぎの正時からは正常に動きます。
 ※報時スイッチがONのときでも、明暗センサーにより暗くなると報時しくなくなります。(自動鳴り止め機能)
 ※曲目は時計裏面に表示してあります。
 ※曲順を変えることはできません。また、曲は時刻ごとに固定されていません。

▶音量の調節

モニターボタンを押してメロディが鳴っている間に、ボリュームを回して、音量を調節します。

▶報時音の試聴(モニターボタン)

時計側面(4時側)についている、モニターボタン(MONITOR)を押すと、時刻に関係なくメロディが鳴り、からくり動作を行ないます。
 メロディが鳴っているときに、モニターボタンを押すと、つぎの曲に切り替ります。

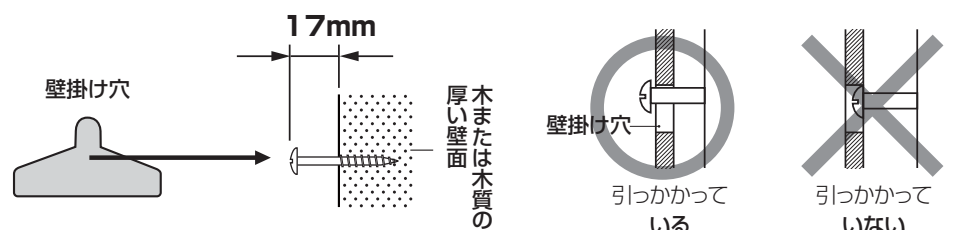
7 時計を掛ける

「時計の掛け方」に従って、時計を確実にかけてください。

時計の掛け方

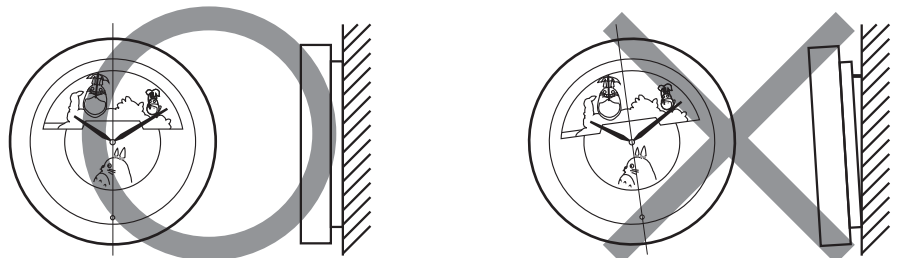
- 掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。**
- 強制 ○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
 - 注意 ○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。
 - 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
 - ドアを開閉するときの振動などが伝わらないところに設置してください。

- 付属の木ねじを使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



- 上記以外の場所(石膏ボード、コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

※垂直に掛けないと、扉が開いたり閉まらなくなります。



電池の交換について

注意 電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。

- 時計が止まった、メロディが鳴らない、人形が動かないときには、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混在して使用しない。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

